

日本エンタープライズ株式会社

第27期 2015年5月期

第2四半期 決算説明資料

2015年1月





2015年5月期 決算概況【第2四半期】



2015年5月期 事業展開【コンテンツサービス事業】



2015年5月期 事業展開【ソリューション事業】



2015年5月期 見通し【業績予想】

コンテンツ サービス事業

- ・ キャリアの定額制サービス向けの拡大
～提供コンテンツの拡大(「App Pass」向けに『女性のリズム手帳』の提供開始)
- ・ ゲームアプリ『ひっぱれ！ネコPing プラネット』の提供開始

ソリューション 事業

- ・ 千葉県少子化対策強化事業『ChibaWomanDiary』の実証実験開始
- ・ 法人向けメッセージングアプリ『BizTalk』の販売開始

その他

- ・ 株式会社社会津ラボの子会社化
- ・ 執行役員制度の導入

決算概況 連結損益計算書の概況

	2014年5月期 第2四半期累計	2015年5月期 第2四半期累計	前年同四半期比	
			金額	増減率
売上高	2,174	2,514	340	15.7%
売上原価	1,135	1,303	167	14.8%
売上総利益	1,039	1,211	172	16.6%
販管費	878	1,149	270	30.8%
営業利益	160	62	▲97	▲60.9%
営業外収益	17	8	▲9	▲53.0%
営業外費用	8	0	▲8	▲97.0%
経常利益	168	70	▲98	▲58.3%
特別利益	107	331	223	208.0%
特別損失	0	8	8	1,349.4%
税金等調整前四半期純利益	275	392	116	42.3%
法人税等合計	127	218	90	70.9%
少数株主損益調整前四半期純利益	148	174	26	17.7%
少数株主利益	15	15	▲0	▲3.6%
四半期純利益	132	159	26	20.3%

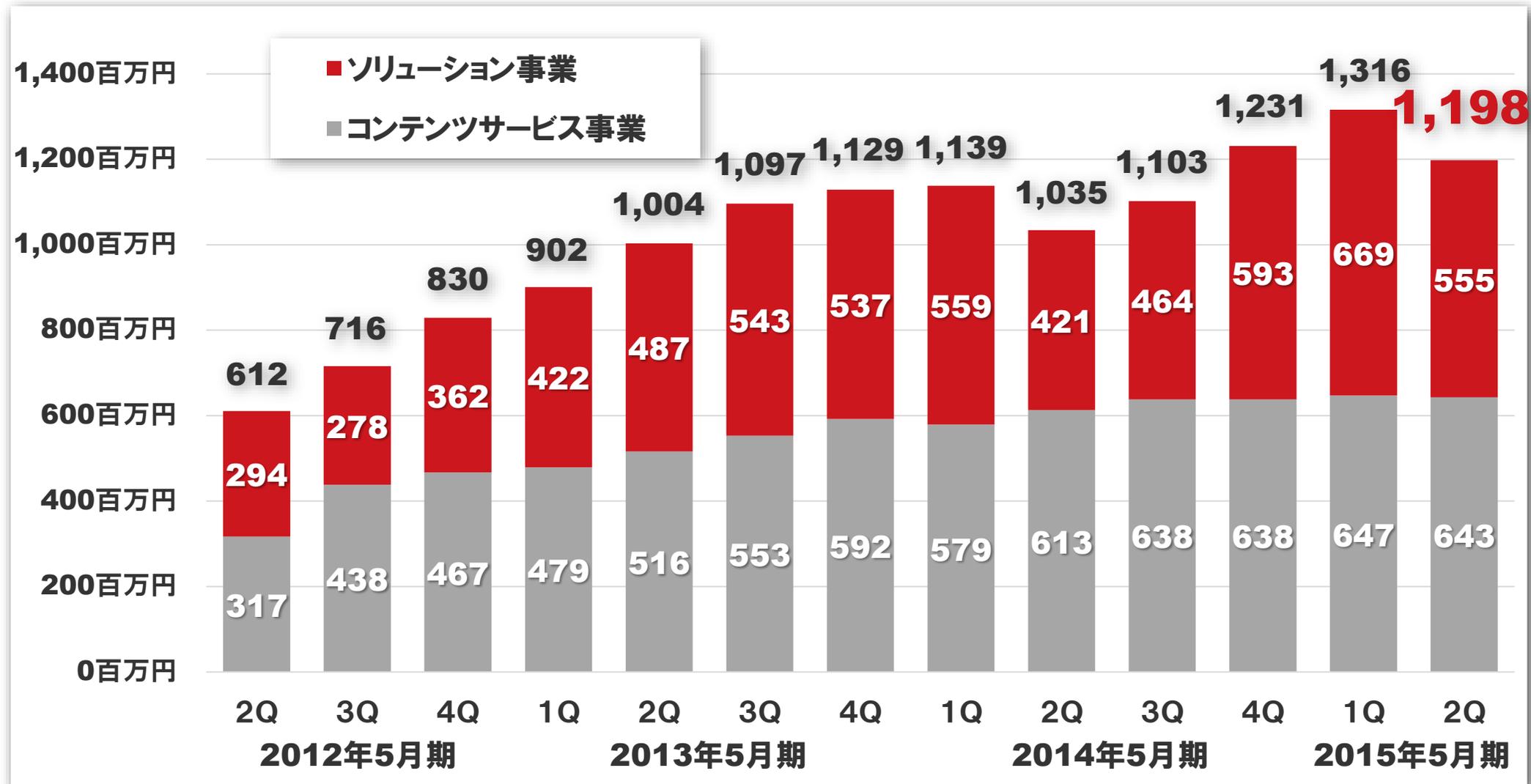
(単位:百万円)

■ コンテンツサービス事業・ソリューション事業、両事業ともに増収

(単位:百万円)

	2014年5月期 第2四半期累計	2015年5月期 第2四半期累計	前年同四半期比	
			金額	増減率
コンテンツサービス事業	1,193	1,290	97	8.2%
ソリューション事業	981	1,224	243	24.8%
合計	2,174	2,514	340	15.7%

■ コンテンツサービス事業は微減、ソリューション事業は減収

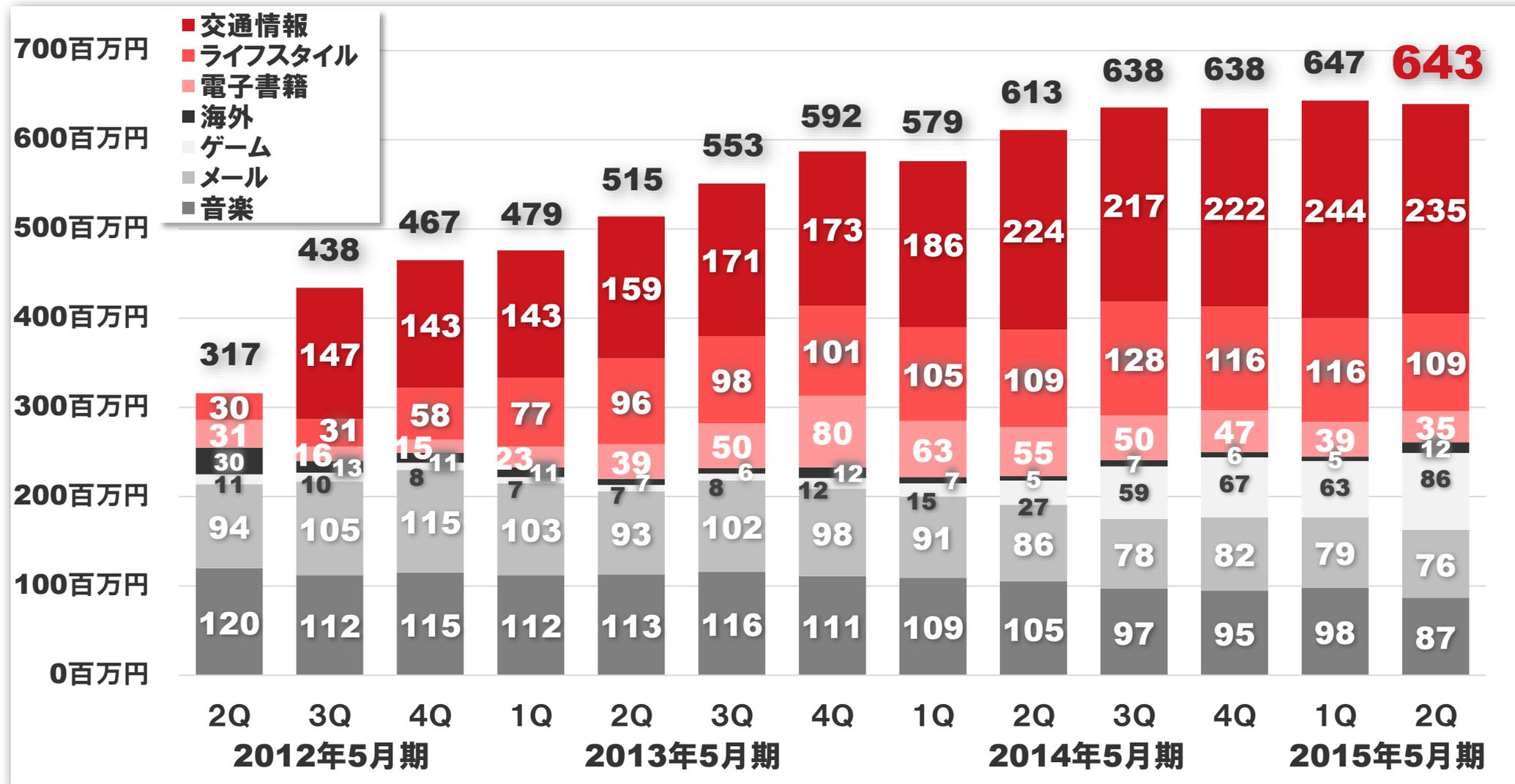


■ ゲーム・交通情報の増収が牽引し、8.2%の増収

(単位:百万円)

	2014年5月期 第2四半期累計	2015年5月期 第2四半期累計	前年同四半期比	
			金額	増減率
交通情報	410	479	68	16.7%
ライフスタイル	214	226	12	5.6%
電子書籍	118	75	▲43	▲36.4%
海外	12	17	5	39.1%
ゲーム	43	149	106	245.2%
メル	177	155	▲21	▲12.3%
音楽	215	185	▲29	▲13.6%
合計	1,193	1,290	97	8.2%

■ ゲームが増進

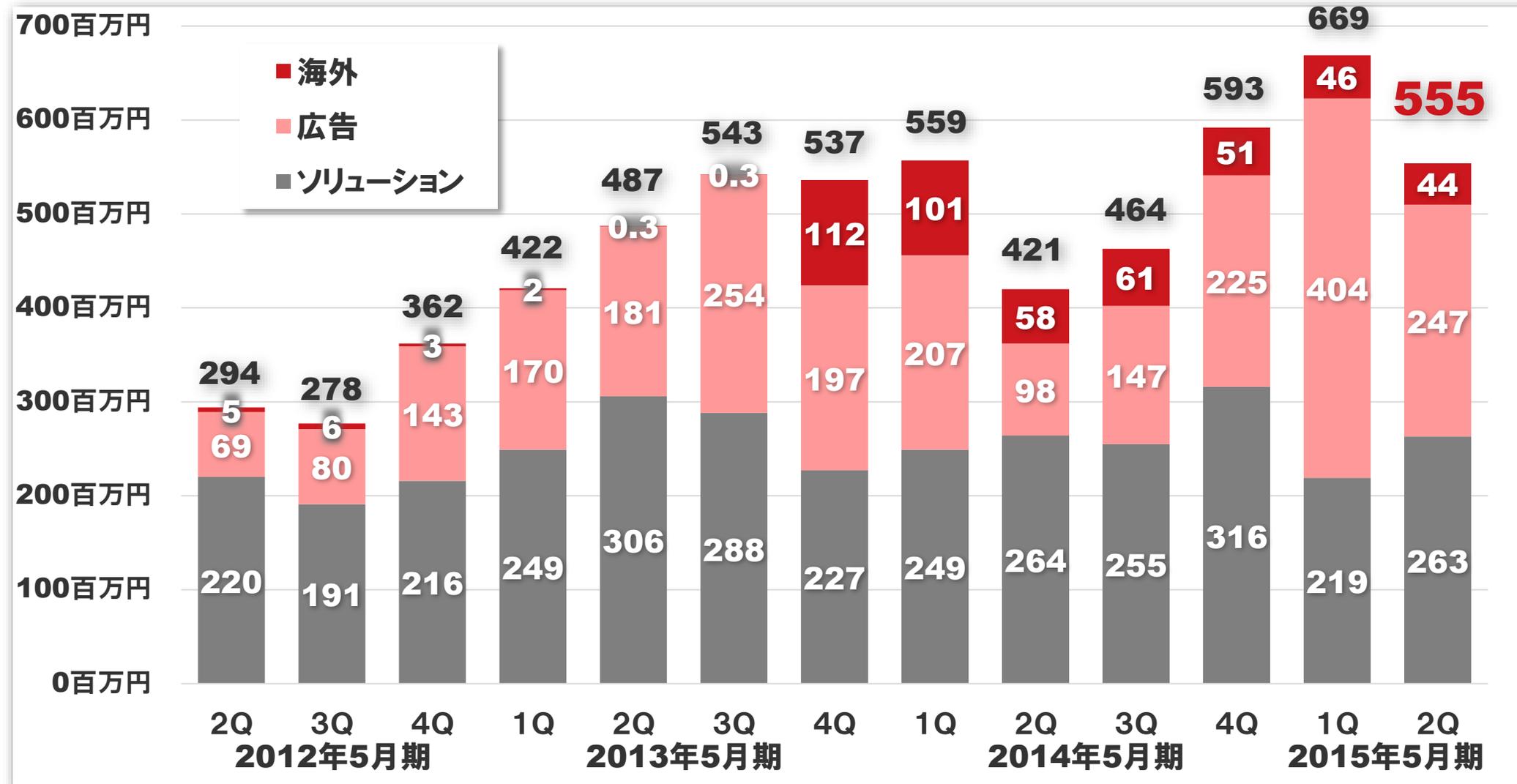


■ 広告の大幅伸長が牽引し、24.8%の増収

(単位:百万円)

	2014年5月期 第2四半期累計	2015年5月期 第2四半期累計	前年同四半期比	
			金額	増減率
ソリューション	514	483	▲31	▲6.1%
広告	306	651	344	112.6%
海外	160	90	▲70	▲43.8%
合計	981	1,224	243	24.8%

■ 広告が減収、ソリューションは増収



決算概況 売上原価・販管費の前年同四半期比較

■ 売上原価：キャリア定額制サービス向けコンテンツの増収による売上原価率の改善

■ 販管費：広告宣伝費(コンテンツサービス事業)への積極投資に伴う販管費の増加

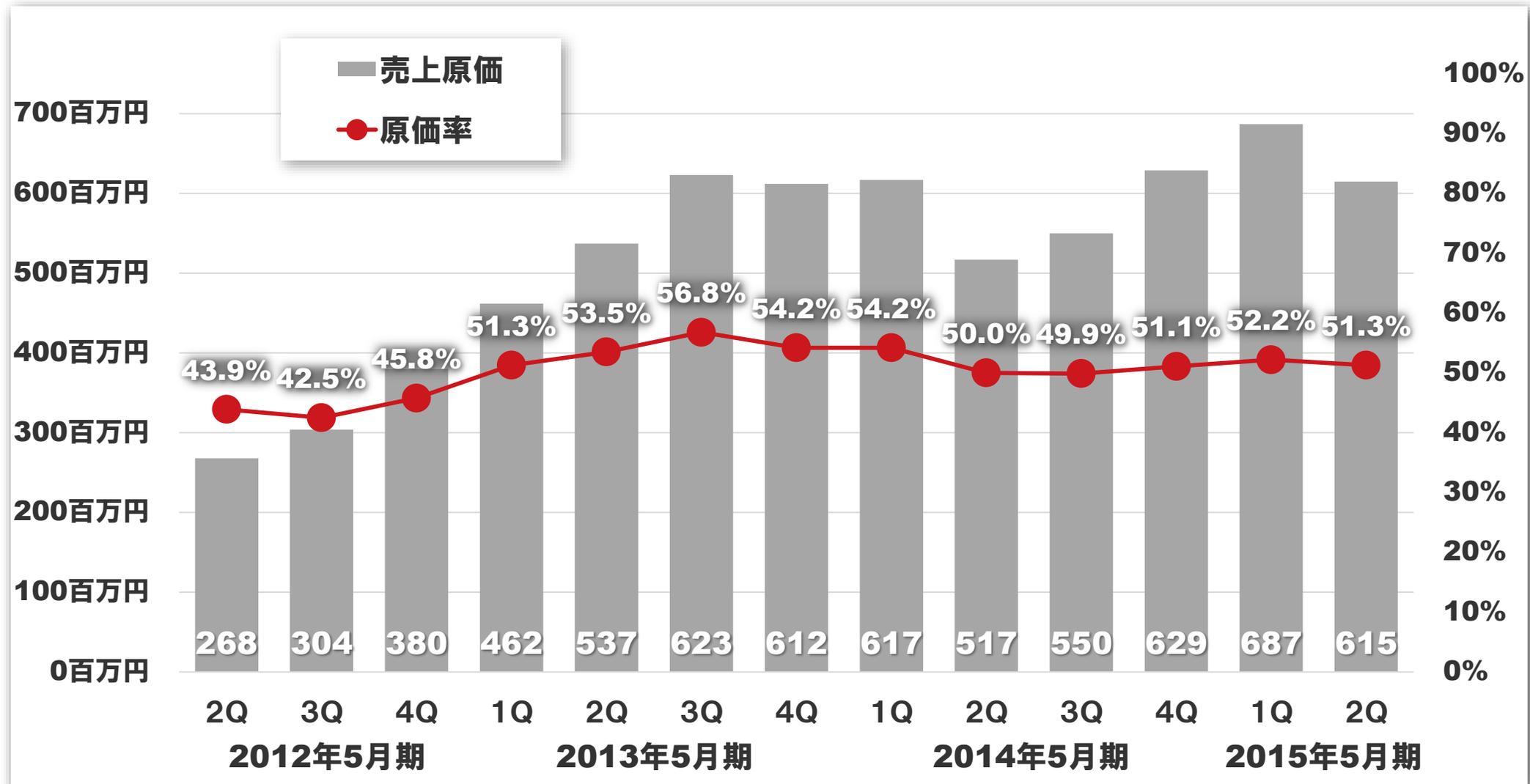
(単位:百万円)

	2014年5月期 第2四半期累計	2015年5月期 第2四半期累計	前年同四半期比	
			金額	増減率
売上原価	1,135	1,303	167	14.8%
原価率	52.2%	51.8%	—	—

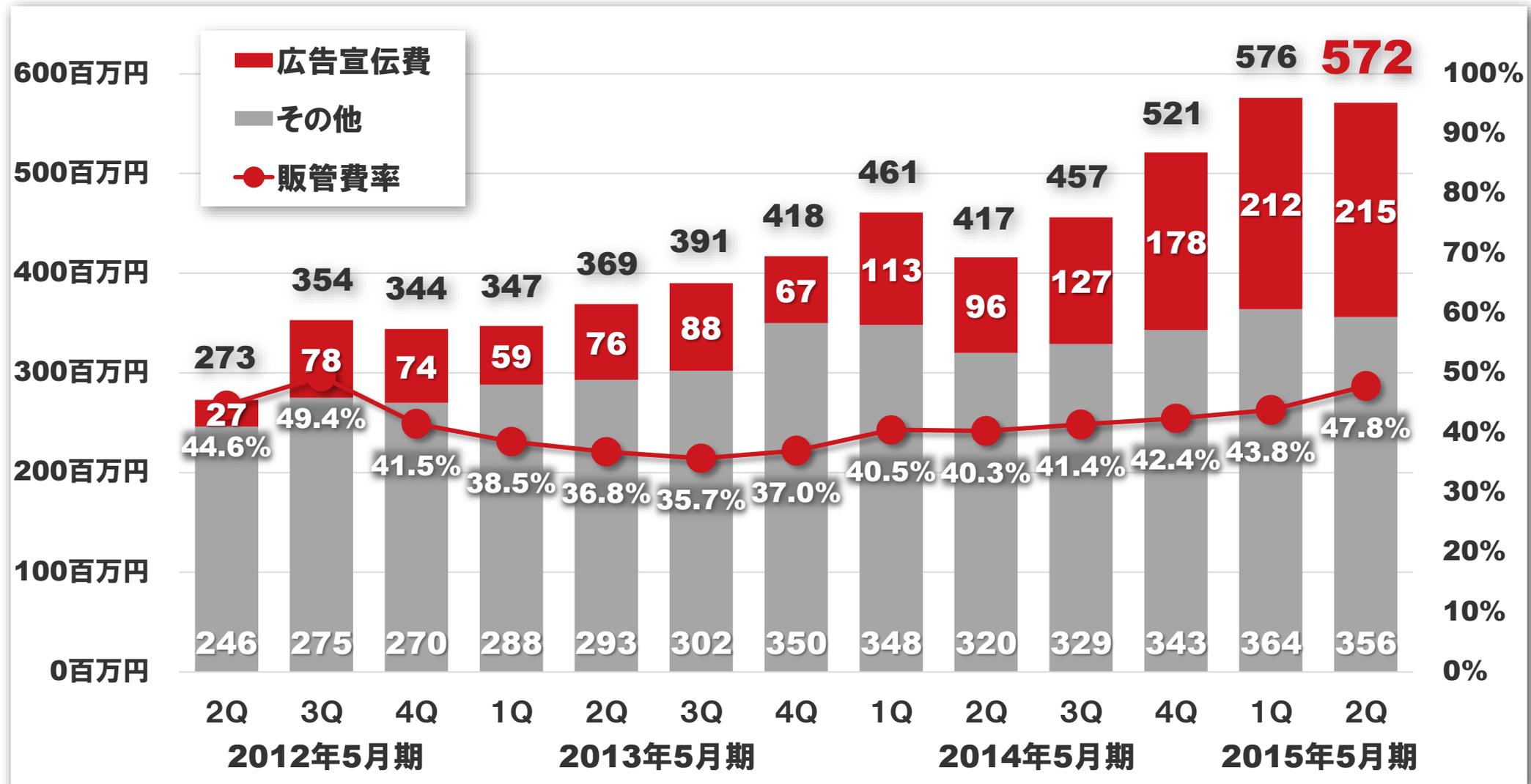
(単位:百万円)

	2014年5月期 第2四半期累計	2015年5月期 第2四半期累計	前年同四半期比	
			金額	増減率
(広告宣伝費)	209	428	218	104.4%
(その他)	669	721	51	7.7%
販管費	878	1,149	270	30.8%
販管費率	40.4%	45.7%	—	—

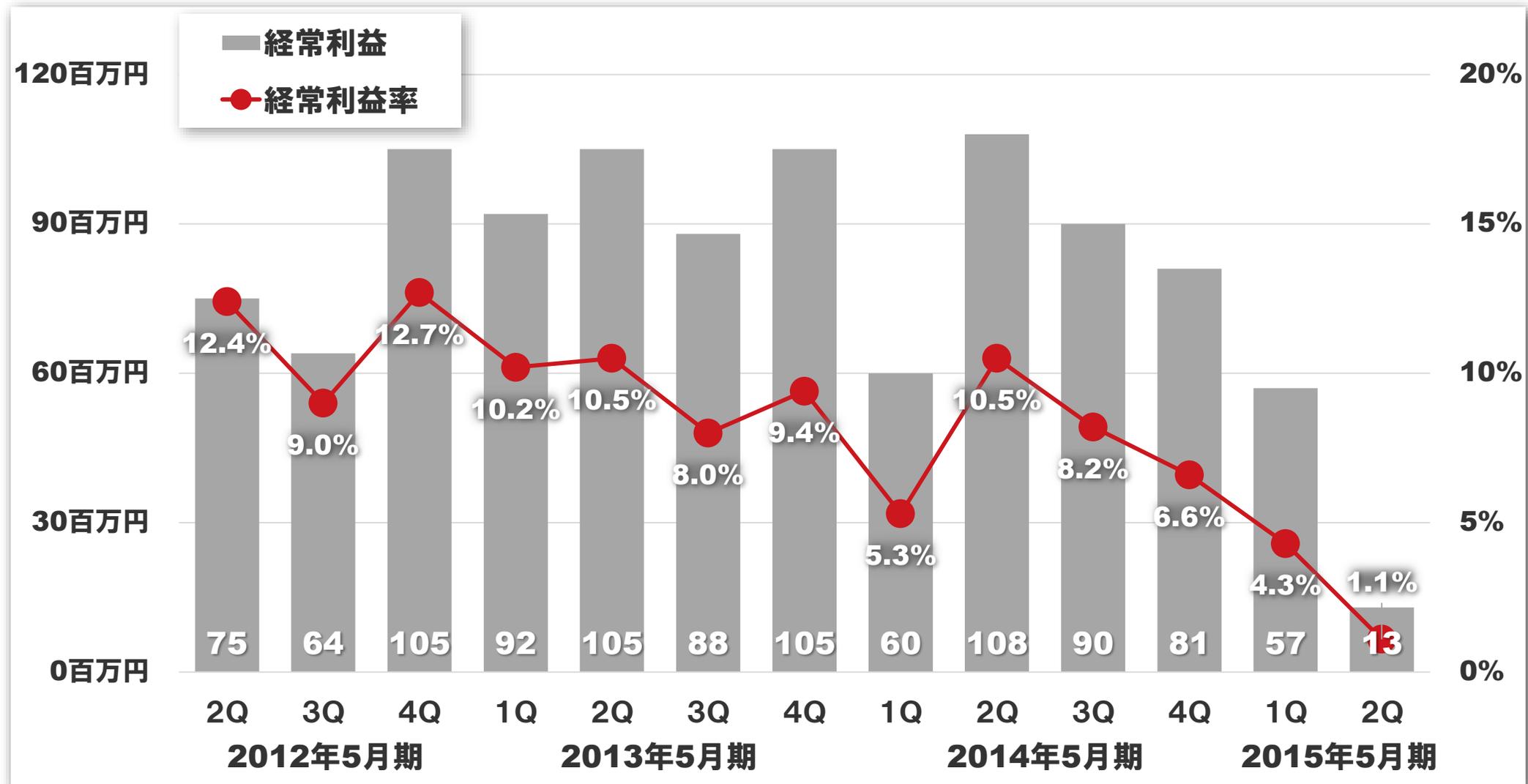
■ ソリューション事業(広告)の減収に伴い、原価率が改善



■ コンテンツサービス事業への積極的な広告投資の実施



■ 積極的な広告投資(2Q:計画より80百万円超)に伴い、経常利益は減益



■ 株式会社社会津ラボの株式取得(子会社化)

株式取得日:2014年11月28日

- (1) 名称 株式会社社会津ラボ
- (2) 所在地 福島県会津若松市インター西53
- (3) 代表者 代表取締役社長 久田 雅之
- (4) 事業内容 iOS/Androidアプリの開発及び受託開発
- (5) 資本金 29百万円
- (6) 設立年月日 2007年1月4日



<期待される相乗効果>

- ①ネイティブアプリの開発力強化
- ②エンジニアの持続的な供給
- ③大学・自治体等との共同研究をベースとしたアプリ開発による事業領域の拡大

■ 増資の概要

2001年上場以来
初の公募増資

	公募による新株式発行	オーバーアロットメントによる 売出しに関連した 第三者割当による新株式発行
発行株式数	2,357千株	(上限)423千株
発行価格(1株当たり)	382円	—
払込金額(1株当たり)	362.10円	362.10円
払込金額の総額	853百万円	(上限)153百万円

主な 資金使途

■コンテンツサービス事業

ネイティブアプリの開発・運営体制の強化により、ゲームコンテンツ市場へ本格参入を果たす。

■ソリューション事業

法人向けシステムの開発を増進し、業務支援サービスの早期収益化を図る。



2015年5月期 決算概況【第2四半期】



2015年5月期 事業展開【コンテンツサービス事業】

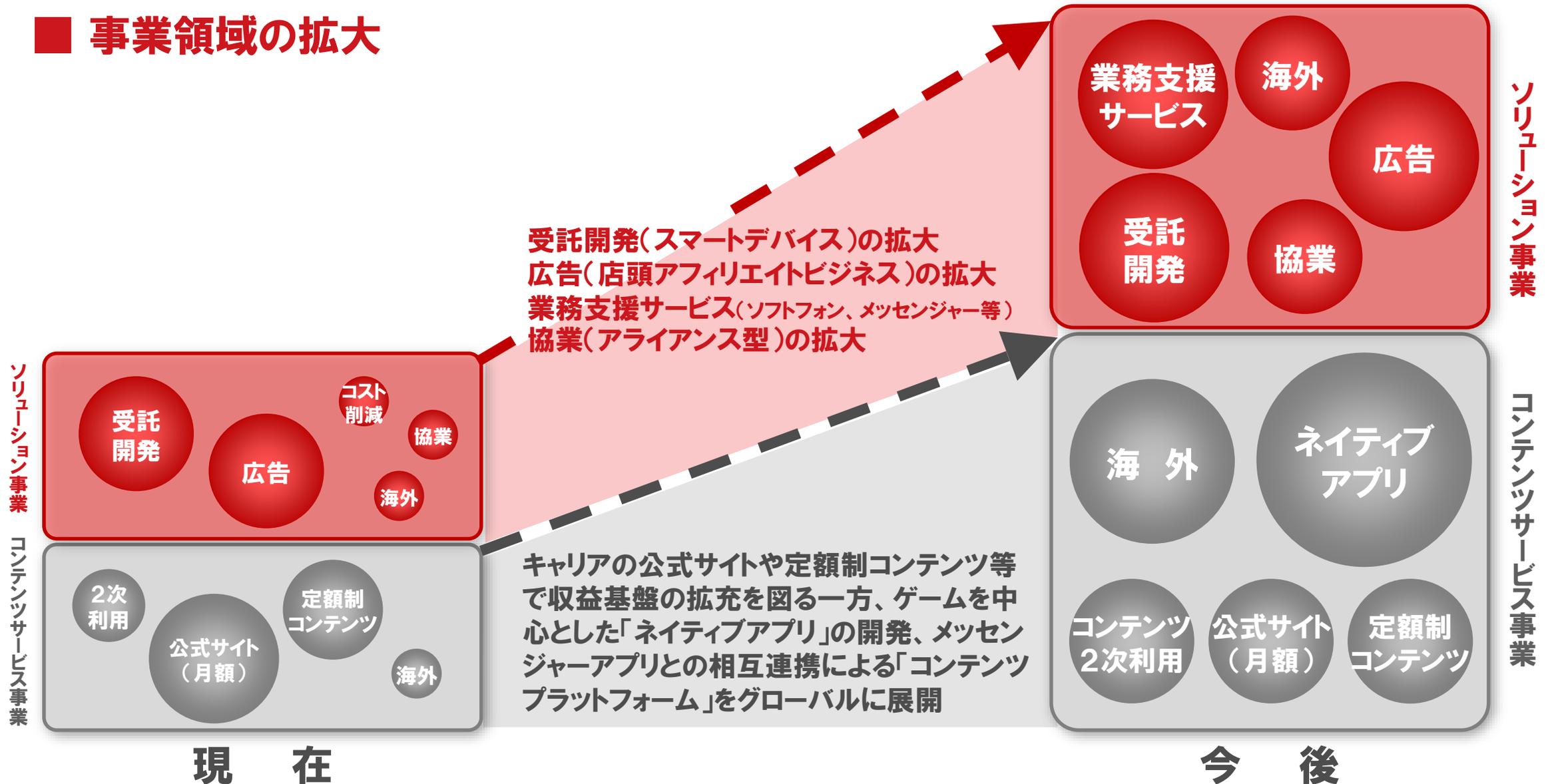


2015年5月期 事業展開【ソリューション事業】



2015年5月期 見通し【業績予想】

■ 事業領域の拡大



■ 販路の拡大

① 携帯電話販売会社と協業展開

ストック型収益モデルでの会員獲得により継続的な収益を見込む。

② 他社サイトと連携展開

女性向けポータルサイトとの連携により会員獲得を図る。

③ SNSプロモーション展開

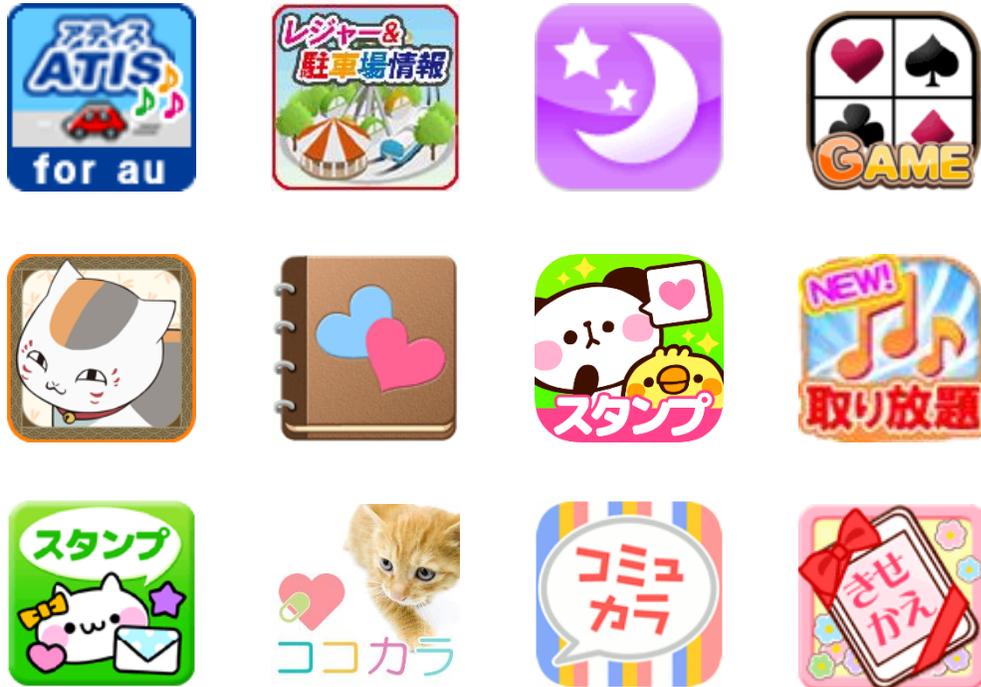
サービスの認知度向上及び会員獲得を図る。

④ キャリアの定額制サービス向けへ横展開

コンテンツの二次利用による収益獲得を図る。

■ コンテンツの追加投入や新たな定額制サービスに提供することで増収へ

auスマートパス (KDDI)



スゴ得コンテンツ (NTTドコモ)



12月よりスタート

App Pass (ソフトバンクモバイル)



アプリ超ホーダイ® (ソースネクスト)

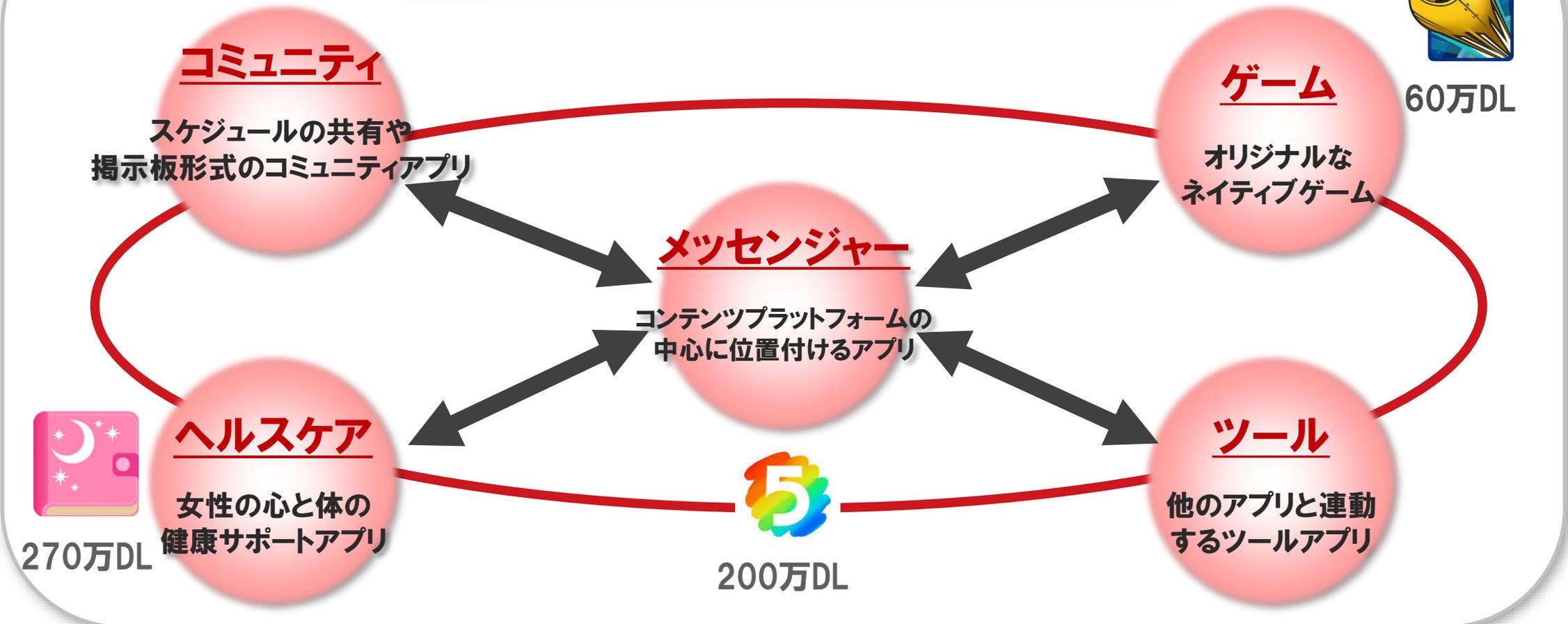


12月よりスタート

※その他、「Yahoo!プレミアム(ヤフー)」や「AppSeru(XL Axiata)」向けにも、各種コンテンツを提供しております。

■ 事業戦略

累計**500万DL**突破のプラットフォーム



■ 主力3アプリの展開

『Fivetalk』



『女性のリズム手帳』



『ひっぱれ！ネコPing プラネット』



■ 新たなゲームアプリの展開

カジュアルゲームの投入

1月開始
予定

3Q開始
予定

4Q開始
予定

『Fivetalk』と連携



2015年5月期 決算概況【第2四半期】



2015年5月期 事業展開【コンテンツサービス事業】



2015年5月期 事業展開【ソリューション事業】

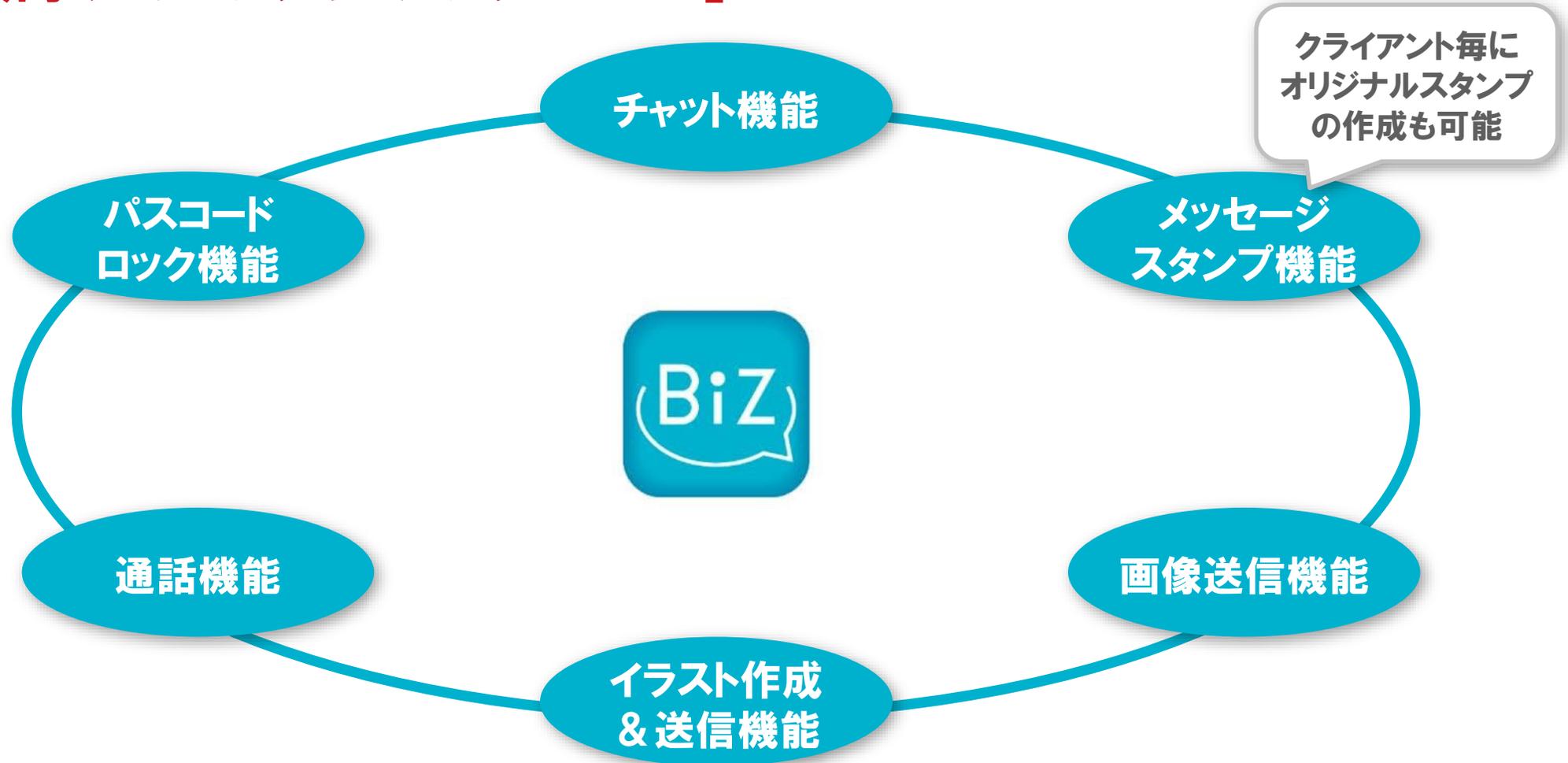


2015年5月期 見通し【業績予想】

■ 広告(店頭アフィリエイト等)の減収



■ 法人向けメッセンジャーアプリ『BizTalk』



業務連絡・情報共有に特化した堅牢なセキュリティを実現！

■ 法人向け業務支援サービスの拡販へ

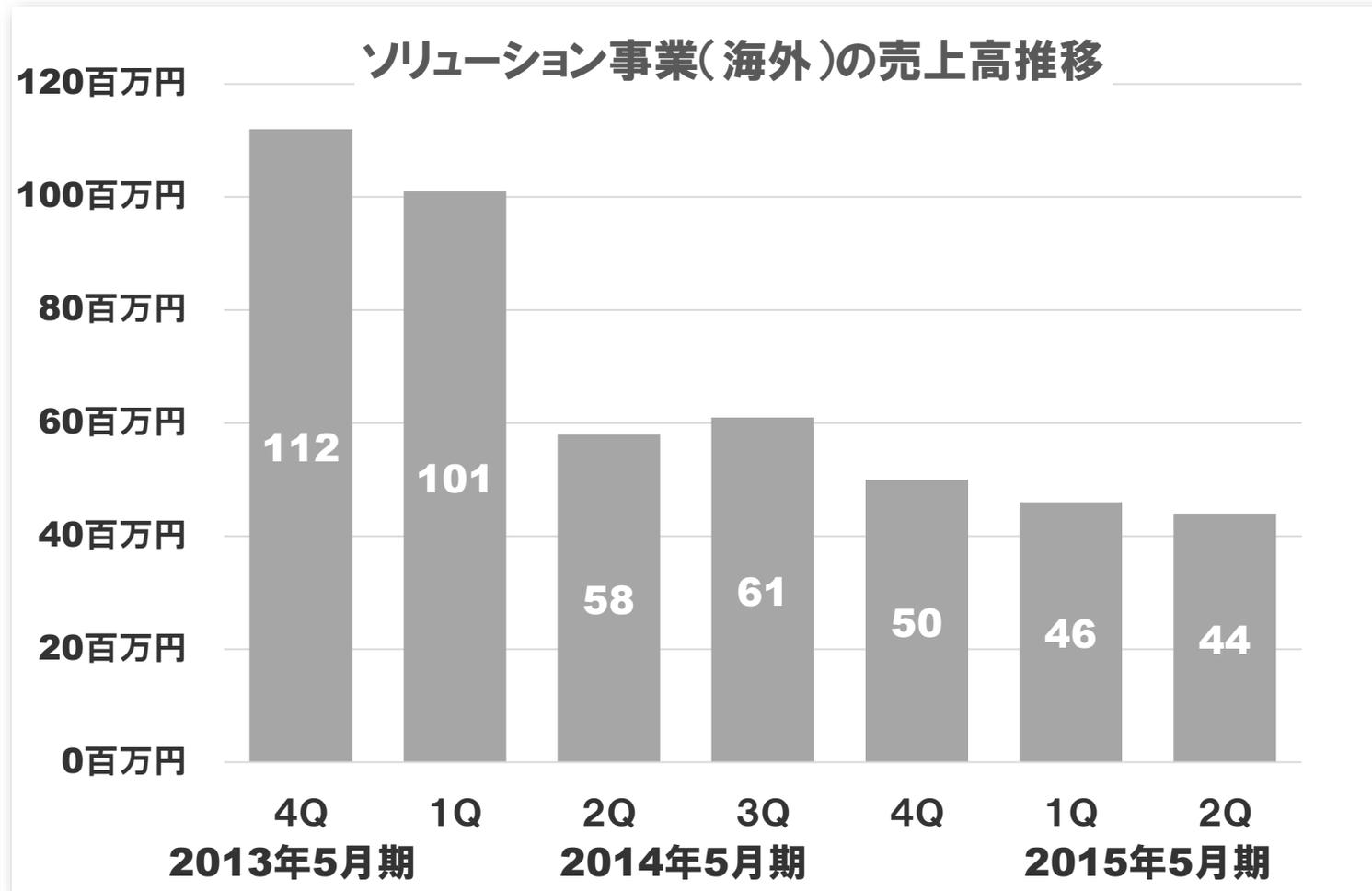


大企業
(1万社)

中小企業
(51万社)

小規模事業者
(334万社)

■ 携帯電話販売(チャイナテレコム)の収益改善



- ・法人契約の強化
- ・付属品販売の強化
- ・継続的なコスト削減

売上高増加施策の推進と
コスト効率の追求により
黒字安定から拡大を目指す



2015年5月期 決算概況【第2四半期】



2015年5月期 事業展開【コンテンツサービス事業】



2015年5月期 事業展開【ソリューション事業】



2015年5月期 見通し【業績予想】

■ 連結業績予想

(単位:百万円)

	2015年5月期		増減額	増減率
	期初予想	修正予想		
売上高	5,210	5,130	▲80※1	▲1.5%
営業利益	415	220	▲195※2	▲47.0%
経常利益	430	230	▲200※2	▲46.5%
当期純利益	350	180	▲170※2,3	▲48.6%

1株当たり年間配当(2015年5月期予想):3.00円

※1:新サービス『AplosOneソフトフォン』の開発遅延が主要因。

※2:ネイティブアプリ『Fivetalk』及び『ひっばれ!ネコPing プラネット』等の積極的なプロモーション推進が主要因。

※3:当期純利益は、2014年11月28日付で150百万円に修正したものの、税金費用が想定より減少するため、180百万円となる見込み。

日本エンタープライズグループは コンテンツビジネスを通じ、 すべてのお客様に喜びと感動をお届けします

この資料に記載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「可能性」やその類義語を用いたものには限定されません。口頭または書面による見通し情報は、広く一般に開示される他の媒体にも含まれる可能性があります。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた当社経営判断にもとづいています。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これらの業績見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願いいたします。